

5 - 2 東海地方の微小地震の分布(1986年5月1日～1986年10月31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District (May 1, 1986 - October 31, 1986)

名古屋大学 理学部

School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1986年5月1日より1986年10月31日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

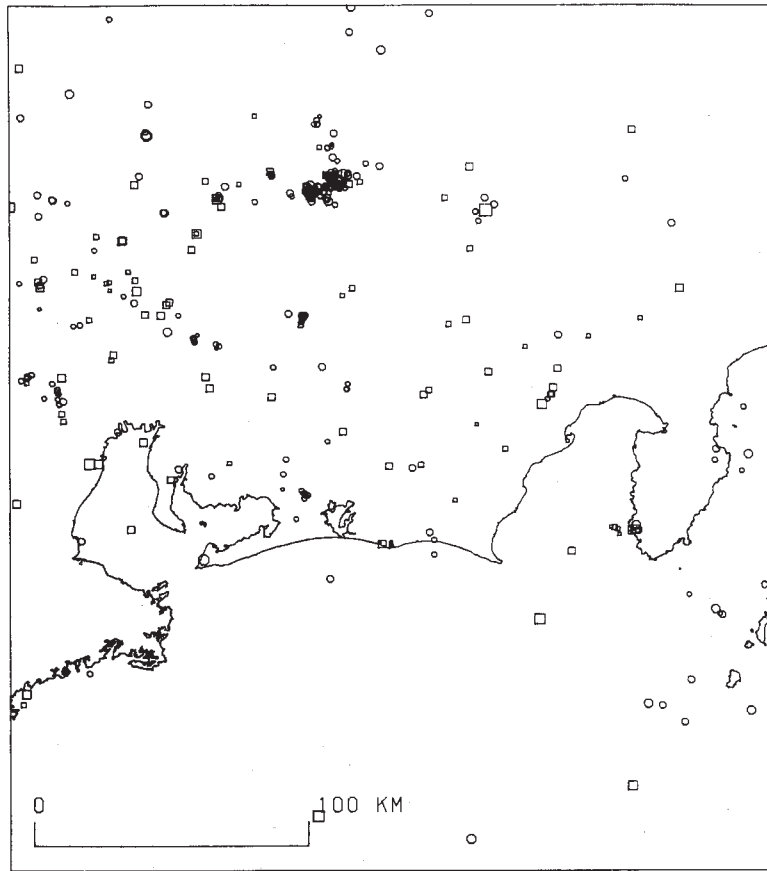
第1図に1986年5月1日より1986年10月31日までの6ヶ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km以浅に発生している地震の震央を3ヶ月づつの期間に分けて示す。第2図は同じ期間に20kmから80kmの間の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 長野県西部地震の余震は時間とともに活動が低下しているが、M3.0以上の余震も数個/月発生している等依然として余震活動が見られる。8月19日に余震域の東でM4.5の地震が発生し、従来の余震域の北東の地域の地震活動が活発になった。9月になってもこの傾向が続き、10月になってからここでの活動は低くなっている。
- (2) 伊豆半島東方沖では1986年10月11日から25日にかけてM4.8の地震を含む地震活動が見られた。
- (3) 静岡県西部地域の地震活動が1986年8月からやや不活発になり月をおって活動度が低くなっている。やや深い地殻底下の地震についても同様の傾向が見られる。
- (4) 長野県東部では1986年8月23日から9月7日にかけてM4.9の地震を含む地震活動があり、沢山の地震が観測された。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部: 東海地方の微小地震の分布 (1985年11月1日～1986年4月30日), 連絡会報, **36** (1986), 228-230.

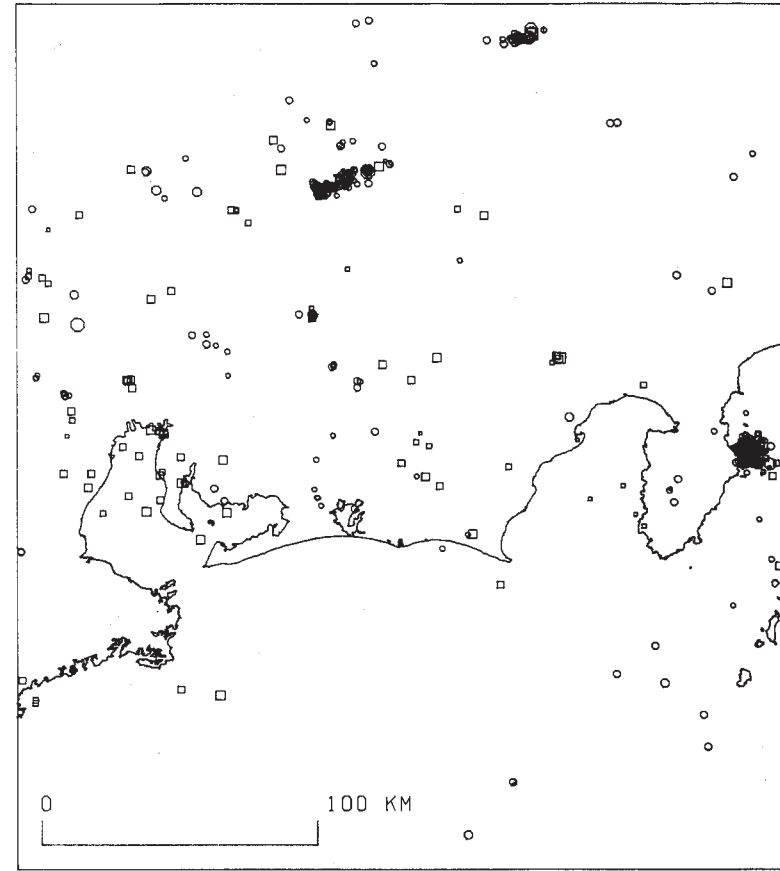


N = 354

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1986 5 1 - 1986 7 31



N = 988

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

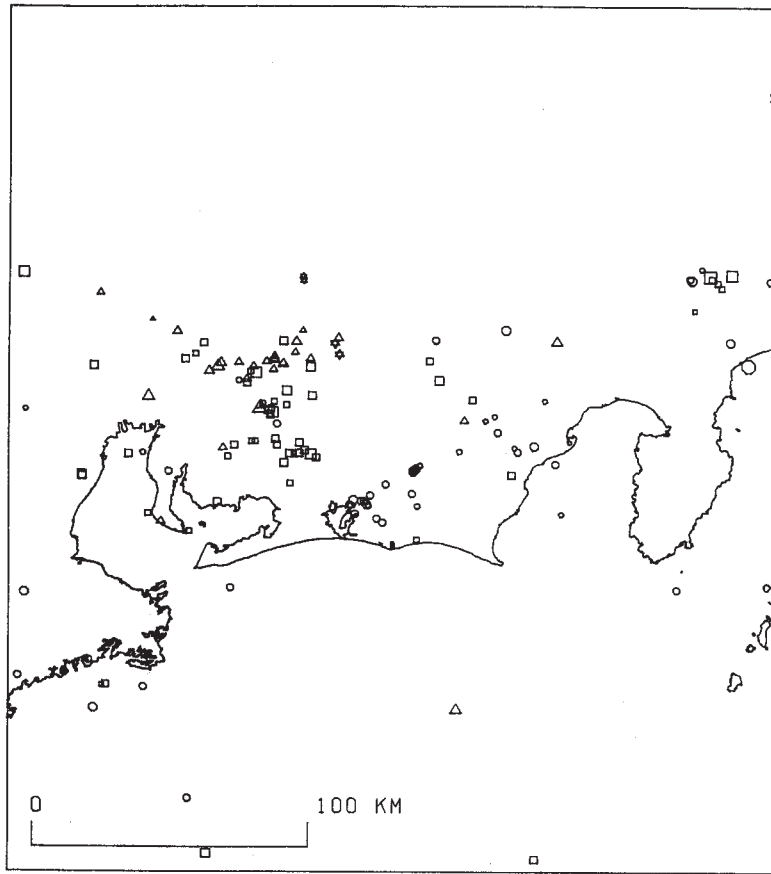
MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1986 8 1 - 1986 10 31

(NAGOYA UNIV)

第1図 微小地震の分布 (1986年5月1日~1986年10月31日) 震源の深さが20km以浅のもの

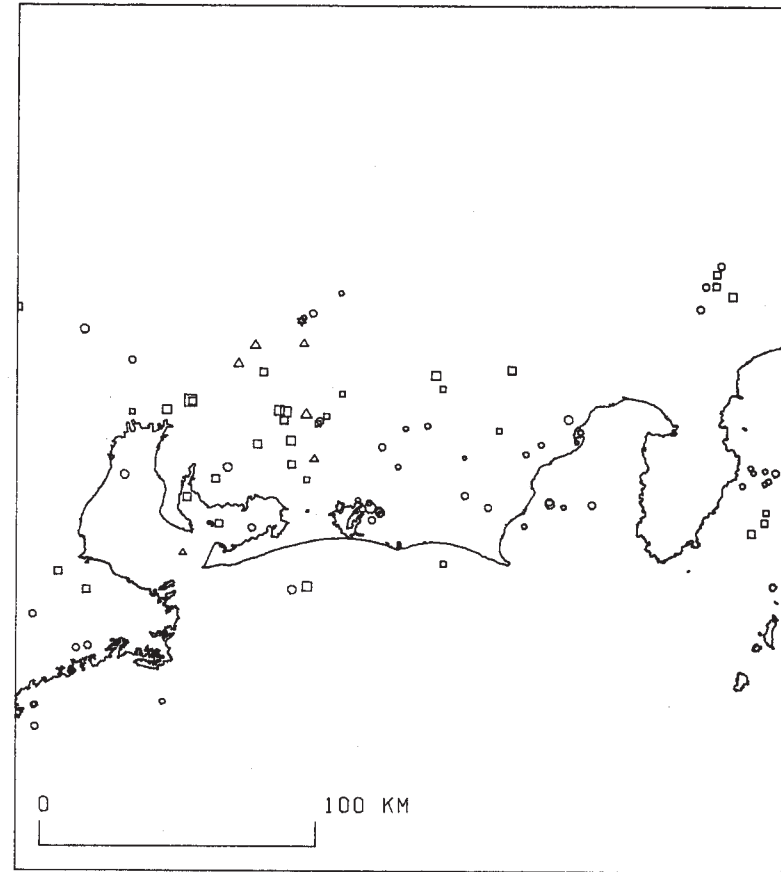
Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1986- October 31, 1986) shallower than 20 km.



N = 147

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1986 5 1 - 1986 7 31



N = 92

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1986 8 1 - 1986 10 31

(NAGOYA UNIV)

第2図 微小地震の分布 (1986年5月1日~1986年10月31日) 震源の深さが20kmより深いもの

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1986-October 31, 1986) deeper than 20 km.